



# 神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2010-2011年度 R I 会長 レイ・クリンギンスミス



地域を育み、大陸をつなぐ

2010-2011年度 第2590地区ガバナー 川野 正久

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| ● 会 長 横山 範夫     | ● 会長エレクト 加藤 仁昭  |
| ● 副 会 長 渡邊 淳之   | ● 副 会 長 月山 勇    |
| ● 幹 事 飯田 泰之     | ● 副 幹 事 天野 公史   |
| ● 会 計 朝日 達夫     | ● 副 会 計 田口 健太郎  |
| ● S A A 伊澤 政宏   | ● 副 S A A 小池 将夫 |
| ● 副 S A A 山本 芳弘 | ● クラブ会報 金森 欣一   |

●クラブテーマ「コミュニケーション」●



- 事務局** ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555
- 例会日** 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)
- 例会場** ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和 51 年 5 月 29 日
- URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail** kerc@beach.ocn.ne.jp

2010-2011年度 第15号週報 No. 1669 2010年(平成22年) 10月22日 第1669回例会記録 10月29日発行

**司 会** 天野 公史 副幹事

**点 鐘** 横山 範夫 会長

**齊 唱** 「手に手つないで」

**四つのテスト** 江森 国一 職業奉仕委員長  
(第1例会のみ)

**誕生日祝** 富居 利貞 名誉会員 (11月3日)

**結婚記念日祝** 天野 公史 会員 (10月29日)  
横山 範夫 会員 (10月31日)  
横溝 亘 会員 (11月4日)



本日〈10月29日〉のプログラム

夜間例会

## 会長報告

横山 範夫 会長

- ・東京RC植田新太郎さんの記事をボックスへ配布致しておりますのでご覧下さい。
- ・RI日本事務局より飯田泰之幹事にベネファクターの認証状とピン、加藤仁昭会員と藤橋恒一郎会員にポール・ハリス・フェローのピンが送られて来ましたので贈呈致します。



ベネファクター 飯田泰之会員



加藤仁昭会員、藤橋恒一郎会員

## 幹事報告

飯田 泰之 幹事

- ・次週、10月29日は夜間例会となります。先週もお伝え致しましたが、当日、横山会長と私は地区大会のRI会長代理歓迎晩餐会に出席しておりますので、進行を渡邊副会長と山田前年度幹事をお願いしております。また、翌日、10月30日(土)の地区大会には、大勢の参加をお願い致します。

場所 神奈川県民ホール

登録開始 12時 点鐘 13時

- なお、本年度の登録所は神奈川県民ホール2F小ホールロビーとなりますのでお間違えのないようお願い致します。
- ・2008-09年度の社会奉仕クラブフォーラムの卓話において下さいました市川真也様が「もう一つの箱根駅伝～僕がごみ拾い駅伝を始めて、そして続ける理由～」という書籍を出版されました。受付にて販売しておりますので、ご協力をよろしくお願い致します。

- ・11月よりロータリーレートが変更になります。 1ドル=82円
- ・先日の区民まつりに手伝いに来て下さいました同志社女子大学、光華女子大学の学生たちから、たくさんのお礼の葉書が届いておりますので、回覧致します。

## 委員会報告

職業奉仕委員会 委員長 江森 国一

本年度の優良職場訪問は、環境委員会との共催により、下記の通り実施する予定です。詳細は後日ご連絡致しますが、皆様の予定に入れていただきますようお願い申し上げます。

訪問日 11月26日(金)

集合時間 午後1時30分

集合場所 ホテルキャメロットジャパン前

訪問方法 大型バス1台

訪問先 株式会社 東芝 東芝科学館

〈セミナー〉 「東芝の環境への取り組み(仮題)」

14:00~15:00

〈施設見学〉 アテンダントによる東芝科学館見学

15:00~16:00

夜間例会 ホテルキャメロットジャパン

17:30より

## スマイルボックス

山本 芳弘 副SAA

富居利貞君 誕生祝い、ありがとうございます。

横山範夫君 ①結婚記念日祝い、ありがとうございます。②菊名記念病院 理事長 山本登様、開院20周年、誠にありがとうございます。③山崎米山奨学委員長、本日のフリーディスカッション、よろしくお願ひ致します。

天野公史君 結婚記念日祝い、ありがとうございます。記念日当日忘れないようにします。

横溝 亘君 結婚祝い、ありがとうございます!!結婚31年、なんとかこなしています。

青柳 紀君 ボーイスカウトチャリティーにご参加の皆様、ありがとうございます。

月山 勇君 ①古川先生、先日は大変結構な記念の品、ありがとうございました。②先日のチャリティーゴルフ参加の皆様、お疲れ様でした。青柳さん、お世話になりました。

山本 登君 ①もう野球は終わりました。②本日、当院の心カテ室と学会場を結んでライブデモをしております。早退させて頂きます。

雨宮和則君 休んでばかりで申し訳ありません。

山崎善也君 米山奨学事業についてディスカッション、よろしくお願ひします。

脇田いすゞさん 涼しくなりました。

伊澤政宏君 本日、第2回目のテーブルディスカッションです。山崎米山奨学委員長、よろしくお願ひ致します。

山本芳弘君 風邪が流行っているようです。皆様、ご自愛下さい。

10月22日	12件	52,000円
本年度累計		762,000円

## 出席報告

森永 健 委員長

会員総数	56名	(42+14)名	
出席会員数	40名	(33+7)名	
出席率	81.63%		
ゲスト	0名	ビジター	0名
前回補正後	96.15%	前々回補正後	92.45%

## 卓 話

### ディスカッション

テーマ「米山奨学事業について」

米山奨学委員会 委員長 山崎 善也

1952年、58年前、戦後の混乱期から何とか立ち直りつつあった時、国民の生活もほとんど余裕のない時期に、主にアジアから学生を日本に招き、勉学を支援する奨学事業として、米山基金の構想が東京ロータリークラブより発表されました。

日本のロータリーの創始者、米山梅吉氏がアジア人留学生の面倒を見ていました。

“氏の遺志を継ぐ為のもっともふさわしい事業として近隣諸国との相互理解、国際親善と世界平和に寄与することを目的とし、世界の人々の友情を結ぶことの証明をしたい”との、当時のロータリアンの強い願いがありました。

米山奨学事業設立当時のロータリアンの発想を、連綿と58年、米山奨学事業の意義を理解し、引き継いでいるロータリアンの活動には、感動を感じるものであります。しかし、時代とともにアジアの状況も変わりつつあり、“見直しも”との声もあるようです。

いずれにしても、米山奨学事業の根幹となる収支のバランスが崩れつつあることが危惧されます。

今月10月は米山月間です。米山奨学事業について、各テーブルにおいて皆様の忌憚のないところで討議をお願い致します。ご意見をもとに、米山奨学委員会として今後の行動に活用させていただきます。

#### 【討議報告レポート】

- ・日本の子供にも使ってよいのではないかな。
- ・定款を変えればよいのではないかな。
- ・日本人はハングリー精神を失っている。
- ・中国人が多いが現状を思うと複雑。
- ・他のロータリーでは日本人を支援している。
- ・米山の設立趣旨からは異なるが、日本人に適用してもよいのではないかな。
- ・親日家を育てられるかというところでもないのではないかな。
- ・財政状況が悪くなってきて、中国に支援はどうか。
- ・フィリピン、インドはあまり対象になっていない。
- ・ホームカミングを見直すべきではないかな。
- ・中国からの留学生が多すぎる。(50%以上)
- ・偏り過ぎている。

- ・もっと発展途上国などの国から募ってもらいたい。
- ・試験制度で選別すると、後進国からの留学生がどうしても不利になり、本来の趣旨が全う出来なく、不公平になってしまう。
- ・広域から公明正大に行ってもらいたい。
- ・留学生対象でなく、幅を広げてはどうか。
- ・時期が悪い。
- ・中国人が優秀な為、他の該当者がいない。
- ・親日にこだわり過ぎではないか。
- ・2万円の寄付を減らして、別のファンドを作ってはどうか。
- ・中国に偏っている。
- ・寄付金が一方通行である。
- ・中国にはロータリークラブがないのではないかな。
- ・前年度97,912千円の赤字なので、人数を減らす等の検討も必要なのではないかな。
- ・ロータリー会員の中に、本事業に賛同していない方がいる。
- ・卒業生の活躍や成果を広く知らせるべきではないかな。
- ・一部の国の学生に偏っている。
- ・国別枠、現地採用を試行すべきではないかな。
- ・現状把握と米山奨学事業の再検討（見直し）が必要。
- ・会員減少の時の収支のバランス。
- ・奨学生の国別の偏り。



## ロータリーミニ情報

### 「青少年交換で生涯にわたる関係を築く」

アントニオ・エレラさんは、1980年に自身がロータリー青少年交換学生として出会った、ホスト・ファミリーのジェリー・ホール R I 元副会長に再会する時は、決まって胸が高まるそうです。

当時16歳だったエレラさんは、チリからはるばる米国を訪れ、ネバダ州レノにあるホール元副会長の家に滞在しました。学校から帰宅したあと、ホール元副会長が毎日数時間、エレラさんに付き添って勉強を助けてくれたことは、生涯忘れることの出来ない思い出だとエレラさんは話します。

「私が本を読むのを聞いてくれたんです」とエレラさん。「英語を学ぼうとする私に、ホールさんは信じられないほど親身な付き合いしてくれました。ホールさんや彼のご家族と過ごした日々はかけがえのない思い出です。だから、ホールさん一家と再会する時、私はいつも感激してしまいます」

現在、ニューヨーク州シラキュースの中等学校で副校長をしているエレラさんは、2003年、シラキュース・サンライズ・ロータリー・クラブの会員となりました。現在、仕事の都合によりロータリーでの活動を一時的に控えています。青少年交換学生がロータリーと繋がりを持つことはとても重要だとエレラさんは言います。

「青少年交換が多くの選択肢を私にもたらしてくれました」とエレラさん。「交換を通じて英語を学ぶことがなかったら、現在の私は存在していなかっただろうと思います」

青少年交換は、ホスト・ファミリーにとっても同じように貴重な経験となる、とエレラさんは言います。

「交換学生はホスト・ファミリーから多くを学び、ホスト・ファミリーも学生から多くを学ぶ、これが青少年交換の素晴らしいところ」とレノ・ロータリー・クラブ会員のホール元R I 副会長は話します。「異なる国で生活して、異なる文化の中で育ったとしても、共有出来ることはたくさんあるものです」「アントニオは、真面目で、一生懸命に学問に励む青年でした」とホール元副会長は当時を振り返ります。「とりわけ、文化を学ぼうとする彼の意欲の大きさには驚かされました」

エレラさんをホスト・ファミリーとして迎え入れた後も、ホール元副会長は13人の学生を面倒見ました。いずれの学生とも、言葉では言い尽くせないほど素晴らしい思い出作りが出来たそうです。

「学生が成長する姿を見届けることは、本当に素晴らしいものです」とホール元副会長。「青少年交換は、若者の人生に大きな変化をもたらすことが出来るんです」

学生が帰国する時ほど辛いものはないそうです。「家族がはなれ離れになるようなものです。交換学生と築く繋がりは、それほど強いものです」

青少年交換で最も大切なことはコミュニケーションであると、ホール元副会長は信じています。

「ホスト・ファミリーは、学生が安心して留学生活を送れるようにしなければなりません。青少年交換は、参加した人の世界観を変える素晴らしいプログラムなんです。このチャンスを生かせば、ほかの文化から学べることは山ほどあるんです」

ホール元副会長とエレラさんが培った固い絆は、30年経った現在でも弱まることはありません。数年に一度は合うようにしているという二人は、先日、カナダ、ケベック州モントリオールで開催されたR I 国際大会でも素晴らしい再会の時を過ごしたとのこと。



記事：Ryan Hyland  
国際ロータリー・ニュース

## 「パキスタンでポリオ撲滅と洪水被災者救済が同時進行」

パキスタンのカイバル・パクトゥンクワ州とパンジャブ州で、大洪水により衛生設備の乏しいキャンプでの避難生活を強いられている何百万という人々の救済活動に、ポリオ撲滅の活動者やリソースが動員されています。

ポリオ撲滅のための人材やインフラが既に充実しているパキスタンでは、大洪水の被災地でのニーズを調査し、水感染病やそのほかの伝染病の状況を監視する為に、これらのインフラが活用されています。感染者が最も多い地域では、ポリオを専門とする疫学者や監視要員が配置され、自動車、ラジオ、衛生電話、医薬品、飲用水タンクなどが備えられています。

国連によると、今回の大洪水では、推定1,500人の死者、2千万以上の被災者が出ました。潘基文国連事務総長は、この災害を、国連が創設されて以来最悪のものであると述べています。

大洪水によって、適切な温度でポリオワクチンを輸送する為に不可欠なコールドチェーンなどの不足で、同地域の医療システムが深刻な状況に陥っています。

「パキスタン全土を襲った洪水で、ポリオ撲滅活動がさらに困難になってます。私たちは、避難キャンプの子どもたちにワクチンを投与しようと試みています」と話すのは、パキスタンのポリオ・プラス委員長、アジズ・メモンさんです。

「2010年後半には、感染が広範囲に拡大してしまうリスクが非常に高くなっている」という報告が、世界ポリオ撲滅推進計画（GPEI）から出されており、これを防ぐ為、5歳未満の子ども2,400万人を対象とする全国予防接種日が、9月と10月に予定されています。国際ロータリーは、9月の全国予防接種日で使用する9万個のワクチン運搬器の為に資金を提供しました。

多くのニーズを抱えている洪水被災者の為に、パキスタン全国において、ロータリー関係者が支援活動を行っています。パキスタンとアフガニスタンにまたがる第3271地区と第3272地区のロータリー・クラブとローターアクト・クラブは、食糧、衣料、医療、シェルターなどを提供する活動を行っています。

シンド地方にあるサマロ・ロータリー・クラブに所属する医師、カシフ・アジズさんとバルデブ・マヘシュワリさんの二人とローターアクターたちが、8月末と9月初めにビルバトにある医療キャンプを運営し、2,300人以上の患者の治療に当たりました。さらにクラブ会長であるロータリアンは、ナディーム・ナビ・カイク・カニさんの監督の下、食糧200袋、衣類2,000点、靴300足がキャンプに届けられました。

記事：Antoinette Tuscano  
国際ロータリー・ニュース

次回《11月5日》の卓話予定

テーマ「テレビの裏側（日本のマスコミの功罪）」

元ニュースキャスター 若林 正人 様

（紹介者 山本 芳弘 会員）